

第五次千葉県障害者計画 主要施策管理表 平成29年度 資料1

主要施策	4 障害のある子どもの療育支援体制の充実
------	----------------------

総合計画等

- ◇ 障害のある子どもが、ライフステージを通じて一貫した療育支援を受けられるよう、関係機関の連携により、地域における療育支援体制の構築を図ります。
- ◇ 手帳の有無や診断名等に関わらず障害の可能性が見込まれる児童のために、地域の障害児施設の有する機能や人材を活用して早期発見や診断、適切な治療や訓練等を行い、地域生活における療育、相談支援体制の充実及び在宅障害児等やその家族の福祉の向上を図ります。
- ◇ ホームヘルプや障害児通所支援、訪問看護などを通じて在宅支援機能の強化を図り子どもの育ちと子育てを支える施策に取り組みます。
- ◇ 東葛地域における医療型障害児入所施設について東葛6市と連携しながら引き続き支援を行うとともに、他の地域についても支援のあり方について検討します。
- ◇ 重症心身障害の状態にある子ども等が入所する老朽化が進んだ県立施設の整備のあり方について、今後検討します。

基本施策

- (1) 障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実
- (2) 障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化
- (3) 地域における相談支援体制の充実
- (4) 障害のある子ども一人ひとりが十分に教育を受けられるための取組の充実
- (5) 障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
27	12	7	4				1
28		6	4				2
29		6	3	2			1

主要施策の取組状況等

平成29年度	<p>【取組結果】</p> <p>(1) ライフサポートファイルの導入を図った市町村が増えたほか、児童発達支援事業所等の質の向上を図るため、人員配置基準等についての条例改正を行いました。</p> <p>(2) 福祉型短期入所事業所の拡大を図ったほか、強度行動障害のある子ども等を受入れる短期入所事業所に対して運営費補助を行いました。</p> <p>(3) 障害児等療育支援事業について、保育園、放課後児童クラブ、児童養護施設などに加え、特別支援学校、小・中・高等学校の職員に対する支援技術の指導も対象とし、発達障害等で困っている方への相談、療育指導を実施しました。</p> <p>(4) 栄特別支援学校を開設したほか、公立の特別支援学校において、家庭、施設、病院への訪問教育を実施しました。また、個別の移行支援計画を作成し、関係機関と情報を共有しながら、個々の卒業後の就労や生活について検討しました。</p> <p>(5) 障害児等支援在宅医療・訪問看護研究会を開催し、医療的ケア児への適切な支援に係る関係機関の協議の場の設置に向けた検討を行うとともに、重症児や超重症児を受け入れる訪問看護研修を実施しました。また、千葉リハビリテーションセンターについて、千葉県県有建物長寿命化計画のⅠ期での建替えの着手を目指すこととしました。</p>
--------	--

平成30年度	<p>【取組結果への対応】</p> <p>(1)ライフサポートファイルの導入や児童発達支援センターの設置の必要性を市町村に働きかけるとともに、児童発達支援センターの支援技術の向上に努めます。</p> <p>(2)強度行動障害のある子どもを受け入れる短期入所事業所の拡充に努めます。</p> <p>(3)療育支援事業について市町村への周知を進めるとともに、発達障害児の子育て経験を生かして相談・助言を行うペアレントメンターによるグループ相談会の開催に加え、療育支援コーディネーター養成研修を実施します。</p> <p>(4)児童・生徒の障害の状況に応じた学びの場を提供していけるよう、家庭、病院、施設への訪問教育の充実に取り組んでいくほか、個別の移行支援計画の作成及び活用の充実が図られるよう情報共有の内容について検討し、関係機関との連携を図ります。</p> <p>(5)医療的ケアが必要な子どもが適切な支援を受けられるよう、保健、医療、障害福祉、教育等の関係機関の連携を図るための協議の場を設置を進めるとともに、医療的ケアが必要な子どもや強度行動障害のある子ども等に対応する施設の拡充に努めます。</p>
最終年度の判定	概ね進展が図られています。
平成30年度	<p>【第六次計画の方向】</p> <p>障害のある子どもがライフステージを通じた一貫した支援を受けられる体制の充実、障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化、地域における相談支援体制の充実、障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実、障害のある子ども一人ひとりが十分に教育を受けられるための取組の充実などを進めます。</p>

※最終年度の判定：

○目標数に対するAの割合が7割以上に達した場合＝「進展が図られています。」

○「進展が図られています。」に該当する場合を除きA+Bの割合が7割以上に達した場合＝「概ね進展が図られています。」

○「上に記載以外の場合＝「一部の進展にとどまっています。」